

地区スローガン：「Bring up Engagement エンゲージメントを育もう」

クラブ方針：「進化」keep on smiling

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 渡邊 岳 仁 幹事 長坂 圭 将
例会場 京成ホテル ミラマール
TEL 043-222-2111
例会日 毎週火曜日 12:30～
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 会長挨拶 / 渡邊岳仁 会長

先日、韓国釜山鎮ロータリークラブ公式訪問に行っていました。
高雄市北區ロータリークラブとは 1976 年 11 月 10 日に、釜山鎮ロータリークラブとは 1988 年 2 月 25 日に姉妹クラブとして締結しています。これもひとえに諸先輩方々が築き上げてきた賜物と思っております。

釜山鎮ロータリークラブのメンバー数は 44 名と言う事ですが、公式訪問の合同例会に参加されたメンバーは 25 名くらいで少し少なめでしたが、素晴らしいホスピタリティ溢れる楽しい公式訪問となりました。以前の釜山鎮ロータリークラブとは思えないほど、積極的で明るく感じました。釜山鎮ロータリークラブでは現在、15 名位退会され 15 名位入会される、を繰り返しながらメンバーが若返っているそうです。若いメンバーは一生懸命に案内やエスコートされ、滞在中は積極的に話しかけて頂き、良い雰囲気の公式訪問となりました。

再来年に千葉西ロータリークラブが創立 50 周年を迎えるに当たり、姉妹クラブが来葉される際には気を引きしめ色々な準備して行かなければと、改めて思いました。

WCS 事業は障害者福祉の事業施設に伺い事業内容等を紹介いただき、支援金を 3 国でお渡しさせていただきました。姉妹クラブとの友好も図れ、意義ある公式訪問となりました。



■ 四つのテスト / 上田裕美 会員

「言行はこれに照らしてから」

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

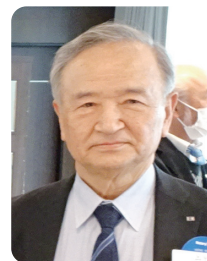
みんなの為になるかどうか



■ お客様

森本和明 様（ゲストスピーカー・Claris 法人営業本部
セールスエンジニアリングマネージャー）

上田勝雄 様（㈱アイ・アンド・シー代表取締役社長）



■ 誕生のお祝い

並木瑛夫会員、白井貴博会員、莊司芳樹会員、中村武弘会員

■ 記念スピーチ 莊司芳樹 会員

皆さま、こんにちは。51 回目の誕生日です。
今更祝ってくれるところもちょうくらいで、お洒落なものを頂きました。有難く使わせて頂きます。ありがとうございます。



■ 幹事報告

第 9 回定例理事会報告

議題は全て承認されました

1. 4 月プログラム変更の件
2. 5 月・6 月プログラムの件
3. 2024-25 年度地区補助金の件
4. 2024 年決議審議会決議案提出の件
5. 三カ国輪番制訪問「収支報告」の件
6. 6 月 18 日例会取消の件

報告

1. 合同事務所撤退の経過報告
2. 合同幹事会報告



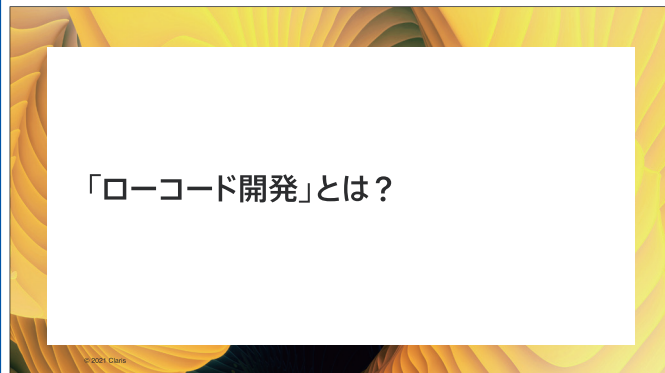


自己紹介



森本 和明
Claris 法人営業本部
セールスエンジニアリングマネージャー

- 2006年 国内大手Sier 入社
 - ・ ソフトウェア製品の海外事業開拓を担当
- 2013年 ファイルメーカー株式会社(当時)入社
 - ・ アライアンス推進
- 2017年 SE(セールスエンジニア)チーム マネージャー
 - ・ お客様へのローコード活用提案
 - ・ 各種イベントでの Claris 製品のご紹介



ソフトウェア開発はコーディング(※)により行うことが一般的

※ プログラミング言語を使用してソースコードを記述すること

ただし...

- 専門技術を有したエンジニアでないと難しい
- 開発エンジニア不足
- 人材育成に時間がかかる

■ ゲストスピーカー・Claris 法人営業本部 セールスエンジニアリングマネージャー 森本和明 様

こんにちは、クラリスの森本と申します。本日はこのような場でお話する機会をいただき、誠にありがとうございます。今日は「業務のデジタル化」というテーマでお話をさせていただくんですが、皆様も感じられている通り、いまやビジネスや業務を遂行するには IT が必要不可欠になっていることは明白ですね。



実際に、皆様のビジネスの中でもすでに様々なシーンで IT を活用されているかと思いますが、ただ、いかがでしょう、十分に活用してすでにいろんな課題を解決されているのでしょうか？

実際のところは、多くの企業においてまだまだデジタル化が進んでいない、もしくは進めて入るけど、コストばかり膨らんで思ったような効果が出ていない、というところは非常に多いです。

そこで、今日は Claris FileMaker というツールを用いることによって皆様のビジネスや業務のデジタル化をもう一歩進めていただいて、より効果的に IT を活用していただくためのヒントをお届けしたいと思っています。

私自身、以前は NEC の海外事業部門にありまして、11 年ぐらい前に今の会社に転職しまして、FileMaker を色々なお客様にご提案したり、セミナーやイベントなどで弊社製品をご紹介するような活動を行いつつ、今は SE チームのマネージャーも担当しております。

どうぞよろしくお願いいたします。

さて、みなさんもよく耳にされているかなと思いますが、今日の企業には DX、デジタルトランスフォーメーションを実現して生産性や競争力の向上が急務だと言われていまして、いろんな企業が取り組みを行っています。

そんな DX 実現の第一歩として、やはり業務のデジタル化を進めていく必要がありますが、そのための有効なツールとして、本日は Claris FileMaker をご紹介いたします。

ちなみに、FileMaker で存じの方はいらっしゃいますか？

FileMaker が何かというと、あらゆる業務アプリケーションの開発が可能な、ローコード開発プラットフォームです。このローコード開発というのが今日のキーワードです。

ということで、まずはこのローコード開発ってなんのか？という点からお話したいと思います。

通常、業務アプリケーション含め、いろいろなソフトウェアというのはこういった、プログラミング言語を記述して開発していくというのが一般的です。これをコーディングといいます。

ただし、業務アプリケーションをこのコーディング、当然ですが専門の技術を持ったエンジニアでないとできませんし、昨今は IT 業界全体でこのエンジニア不足の問題もあります。

じゃあ人材を育成するにも、やはり専門的なスキルになりますので育成にも時間がかかります。

このように、従来のコーディングによる開発は、まだまだ主流とはいえ、このように技術的なハードルが高い分課題もあるというのが現状です。

一方で、ローコード開発というのは、コーディングをほとんどすることなくアプリケーションが開発できる開発技術、手法を言います。例えば、マウスのドラッグ＆ドロップで画面を作ったり、開発ツール側であらかじめ用意された機能を組み合わせるだけで色んな処理を実行させたり、というように、コーディングを行わないので高速な開発が可能という点と、画面上で直感的にアプリケーションを作ることができるので、技術的なハードルを大幅に下げられる、そんな特徴を持っています。

メリットも色々ありまして、例えば、今お話ししたような短期間での開発が可能だったり、技術的なハードルが下がるので開発人材の育成、確保がし易いという

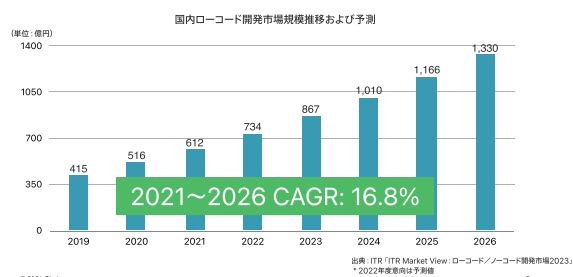
一方で、「ローコード開発」は・・・

コーディングをほとんどすることなく
アプリケーションを開発すること

ローコード開発のメリット

- 短期間での開発が可能
- 開発人材の育成、確保がしやすい
- 専門のエンジニアでなくても開発が可能 → 「市民開発」
- 内製開発との親和性が高い
 - ・ 業務フローにマッチしたシステムの開発が可能
 - ・ 迅速、柔軟に開発、改修を進めることができる
 - ・ コスト削減につながる
 - ・ 社内の IT に対する意識向上し、IT カルチャーの醸成につながる

ローコード開発の普及



あらゆる業務に向けたアプリケーションの
開発が可能なローコード開発プラットフォーム

<https://www.claris.com/ja/>

Claris FileMaker とは？

- 開発元の Claris は Apple Inc. の一員
- 1985年のリリース以来、約 38 年もの歴史
- 世界中で 100万 以上のユーザーが利用
- WW売上上の 約25% は日本



Claris FileMaker



レビューサイト「IT Review」において
ローコード開発部門における 満足度 No.1 を獲得

点、同時に、開発専門のエンジニアじゃない人が開発をする、いわゆる市民開発が可能になるという点も挙げられます。つまり、実際に利用する業務部門のユーザが自らアプリケーションを作るといったケースも実際にたくさんあります。この市民開発も含めて、内製開発との親和性が高いというのも、非常に重要なポイントです。

コーディングの場合は専門的な技術が必要なのでどうしてもプロの開発ベンダに開発を委託するというのが一般的ですが、ローコード開発の場合は自社内で開発要員の育成もし易いので、内製開発へ舵を切る企業も非常に増えています。

この、内製開発によるメリットもいろいろとありまして、例えば、自社のビジネスや課題、そして業務フローなどを良く知っている人が開発に携わることで、業務にマッチしたアプリケーションにしやすい、ですとか、

新規開発や既存システムの改修においても、外部への委託になると見積もりや契約など事務的な手続きだったり予算的なことも発生するので時間がかかったり、必要なときに実施できないことも良くあります。

その点、社内なのでスムーズに進めやすい事が多いです。その他、コストについても、外部に委託するよりも内製で行うことでキャッシュアウトを抑えられますし、人件費を考えても外部委託よりもコストが抑えられるケースが多いです。

そして最後ですが、内製することで必然的に社内のいろんな関係者が関わりますので、結果的に IT に対する意識向上、もっとという IT カルチャーの醸成につながるということも、実際に多くのお客様がおっしゃられています。

ここで、念の為に申し上げたいんですが、じゃあもうシステム開発全部内製にすればいいじゃないか、と思ってしまうんですが、やっぱり対象となるシステムの規模や機能など求められる要件によってはプロに委託しないと難しかったり、ローコードではなく従来の開発手法で行ったほうが良いケースなど、様々です。後で出てきますが、このあたりはケースバイケースで外部委託と内製開発をうまく使い分けするのが良いということになります。

お話ししたような色々なメリットがあるだけに、ローコード開発に取り組む企業も増えています。

これは国内のローコード開発市場の推移予測ですが、2026 年までに年平均、約 17% という高い割合で拡大していくと見られています。それだけに業界の注目度も高いことがわかります。

そして、Apple の子会社である Claris が提供するローコード開発のための開発ツールが、Claris FileMaker ということになります。まず初めに、この FileMaker についていくつかぜひ知っておいていただきたいことがあります。

Claris という会社は Apple の 100% 子会社でして、それもあり、iPhone や iPad といった、アップルのデバイスとの親和性の高さも 1 つの特徴となっています。

また、最近でこそローコードという言葉が結構注目されているんですが、FileMaker に関しては実に 38 年もの歴史があります。

昔はローコードという言葉はありませんでしたが、用途や目的としては今で言うローコード開発と同じように使われ続けています。そして現在では世界で 100 万以上のユーザーに利用されており、特に日本は世界の売り上げの約 4 分の 1 を占めるぐらい多くの企業様にご利用いただいています。

日本のユーザーにも高く評価いただいております、「IT Review」という IT 系のレビューサイトでも満足度 No.1 の賞を受賞しています。

では、実際にこの FileMaker、デモをご覧くださいと思います。さて、この FileMaker ですが、内製開発がし易いと言いましたが、実際には対象のシステム、アプリケーションによって内製するか、委託するか、判断が必要なケースも多いかと思えます。

FileMaker に関して言えば、そのあたりも柔軟な選択肢があるんですが、完全内製型、完全委託型、そしてハイブリッド型、それ

Clarif FileMaker によるローコード開発 - DEMO -

11

Clarif FileMaker - 開発・導入における3パターン

内製か委託か、柔軟な選択肢があります

	メリット	デメリット
完全内製型	- 開発コストの低減 - 外部ベンダーへの依存軽減 - 業務フローや課題の理解がしやすい	- スキル習得に時間・労力がかかる - 属人化の懸念
完全委託型	- 短期間、高品質 - 高度な要件に対応する開発も可能	(相対的に)コストはかかる - 要件について認識の齟齬が生じる恐れ - 自社内にノウハウが蓄積されない
ハイブリッド型	- 内製開発 - プロによる伴走型支援により短期かつ確実なスキル習得が期待できる - 委託開発 - 自社開発が難しい場合はプロに委託するほうが現実的	開発支援、開発委託におけるコスト

12



- 全国 約170社のパートナーネットワーク
- プロの技術で開発
- ユーザー主体の開発をプロがサポート



株式会社マウンテン様

不動産業

デジタル化により業務の属人化を解消

契約、物件、金銭の管理など、別々の担当者がバラバラに行っていた業務を FileMaker 上で一元管理、見える化することで属人化の課題を解決

ぞれのパターンのメリット、デメリットを見てみましょう。
完全内製型はある意味、理想形かもしれませんが、先ほどお話ししたいろんなメリットがありますが、一方でそれらは全部自分たちでやるだけの技術が伴っているということが前提となります。

また、特定の担当者に開発業務を依存しすぎると、その人がいないとシステムの変更もできないと行った属人化に繋がる恐れもありますので、そのあたりうまくやる必要があるでしょう。

そして、プロに委託する場合、やはり確かな技術により短期間、高品質が期待できるというのは大きいですね。

また、中には高度な要件だったり、もしくは外部のシステムとの連携など FileMaker 以外の技術が必要なケースがありますが、それもプロにおまかせすれば安心です。

反対に、当然ですがコストが掛かったり、要件を正確に伝えるためのコミュニケーションにも気をつける必要があります。

そして最後がハイブリッド型ですが、こちらは弊社としてもお客様にまずおすすめしている考え方です。

内製と委託のいいとこどりと考えていただければいいかと思えます。

平たく言うと、自分たちでできるところは内製で、難しいところは委託する、という非常にわかりやすいことなんですが、内製においても、伴走型支援とよく言われますが、ベンダーに開発方法を指南してもらったり、ノウハウを共有してもらうことで自社スキルを確実かつ短期に習得する、そんなサービスを提供しているベンダーも多くあります。

そういったサービスも利用しながらハイブリッドで実施するのが FileMaker の効果を最大化する近道かなと思います。

FileMaker ではそういった各種支援をしてくれる開発パートナーとのパートナーネットワークを構築しています。

もちろん、アイアンドシー様もパートナー様の一社として 10 年前から様々な企業様へ FileMaker のソリューションをご提供されてきた実績をお持ちです。

FileMaker は実に多種多様な業種、業務で利用されていますが、ここで2件ほど、実際に FileMaker を利用されているお客様の導入事例をご紹介します。

活用事例の1つ目は不動産業のお客様です。

こちらのお客様ですが、導入前の課題としては、業務ごとに担当者がバラバラに作業していて属人化が進んでしまっていた、ということでした。

また、アナログな業務も多かったので担当者間での情報共有がしづかったり、

いくつかシステム化されている部分も、システム間の連携ができていなかったため、煩雑な手作業が発生したりと何かと非効率な部分があったため、FileMaker を利用してシステム開発を実施されました。

FileMaker では作成した業務アプリケーションをクラウド上に置いて利用することができるんですが、

その業務アプリケーションに、顧客や契約、入金のほか、物件に関連するデータなどを保管することで、業務データを一箇所で一元管理するようにされました。

これによって自分の担当以外のデータにも簡単にアクセスできるようになりました。

さらに、今までは、社員の方が実際に事務所に行かないと必要な情報が見れなかったりといった課題もありましたが、FileMaker のアプリケーションをクラウドに配置することで事務所のほか、在宅だったり、外出先だったりいろんな場所からアクセスすることができるようにもなっています。

また、業務上色々なスケジュール、日程を管理することもあるそうですが、スケジュール管理に関しては Google カレンダーを使用されていたそうです。

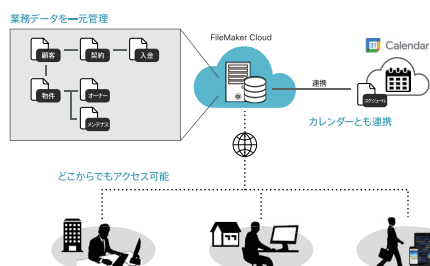
そこで、FileMaker と Google カレンダーを連携させることで、FileMaker 側に日程を入力したらそれが Google カレンダーにも

導入前

- 業務ごとに各担当現場バラバラに作業（属人化）
- データの共有が不十分で非効率
- 別のシステム、サービスとの連携ができておらず、作業が煩雑に

© 2022 Clavis

導入後 - FileMaker Cloud で一元管理



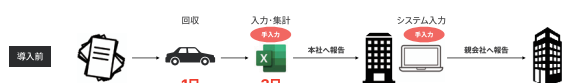
© 2022 Clavis

株式会社ネクスコ・メンテナンス東北 様

建設業



導入前 - 多重入力など非効率な報告業務



© 2021 Clavis

19

自動的に反映されるといった仕組みにされています。このように全体をシステム化することで、自分の担当以外の状況もリアルタイムで把握でき、業務を一連のフローで、例えば、新規顧客がいて、契約に進んで、その後更新があって、退去後は原状復帰工事を行うといったような流れで管理することができるようになって今まで非効率や煩雑さが解消されたということでした。次の例は、東北自動車道の一部区間において道路のメンテナンスやサービスエリアの維持管理など行われているお客様の例です。

こちらのお客様ではいろんな業務に FileMaker を活用いただいているんですが、その中でも各種報告業務の効率化が非常に効果が大きかったものとなります。

いろんな場面での報告業務があるようなんですが、例えばサービスエリアの管理では、スタッフの勤怠記録だったり、細かいところだとトイレ用ペーパーが何ロール使用されたかといったことまで記録して報告されるそうです。

以前のフローはというと、まず現場で紙に手書きします。それを月に一回、担当者が車で回収して回ります。その後それらの報告書を Excel の所定の様式に入力します。

そしてそれを本社への報告のために送って、本社はさらにその情報を親会社のシステムに入力し、親会社への報告とする、そんなフローだったそうです。

複数回の手作業による入力作業や、報告を上げるまでのタイムラグなどを課題に感じられ、システム化による効率化に取り組みました。

これを現場側では、iPad に入力できるようにして、手入力せずによりシステムティックに報告をあげられるような仕組みを FileMaker で構築されました。

新しいシステムでは、担当者が現場で iPad から FileMaker のアプリケーションに入力します。

入力すると即座にデータはサーバに保存され、本社でも閲覧可能な状態になるため、リアルタイムで状況が把握できますし、わざわざ報告をするという作業自体も不要になりました。

さらに、親会社への報告についてはサーバから CSV データを出力してそれを親会社のシステムに取り込むだけなので、以前のように全部手入力する必要もなくなりました。

このように、以前のような手間や時間をほとんどかけることなく、効率的に業務報告ができるようになったというものです。

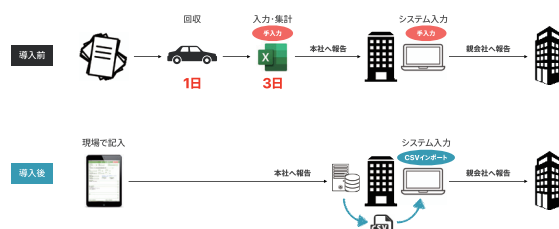
これ以外でも道路の安全巡回記録や現場点検報告、ヒヤリハット報告など、現場のあらゆるシーンで iPad と FileMaker を活用いただいております。

この他にも、多数のお客様事例を HP でもご紹介していますので、どのようなシーンで FileMaker が活用され、そしてどのような効果上げているか、ぜひご覧いただければと思います。

いかがでしたでしょうか、ぜひみなさんの会社の業務、今一度ご確認いただいてシステム化によってより効率化する余地がないかどうか、いちどご検討してみてくださいいただければとおもいます。

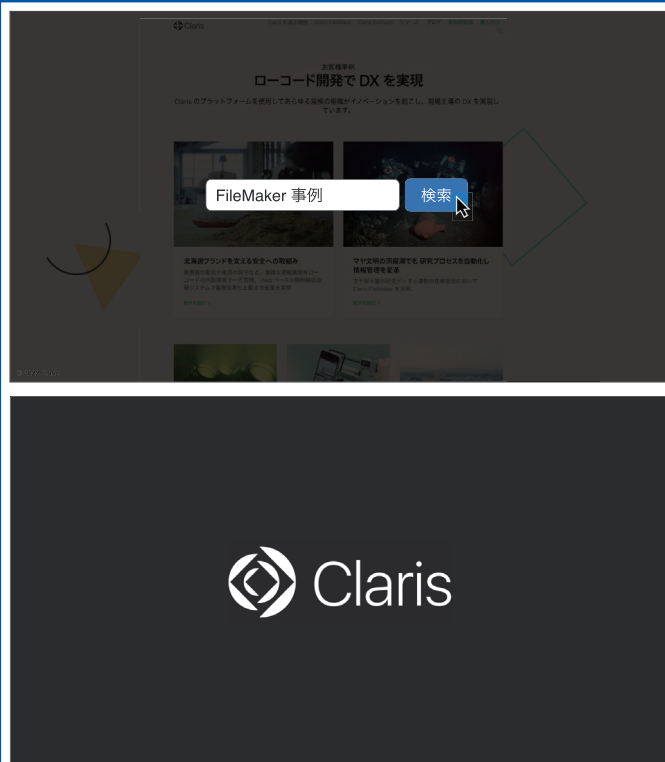
改めまして、本日は貴重なお時間をいただき、どうもありがとうございました。

導入後 - データはリアルタイムに共有



© 2021 Clavis

21



■ 会員拡大の取り組み 野口アキ子 会員増強委員長



😊 ニコニコ BOX

- ・宮川…新井パスト会長、安らかに眠りください。
- ・飯高…誕生祝を頂いて。有難うございます。
- ・渡邊、野城、賀来…新井パスト会長、安らかに眠りください。
- ・北村…釜山鎮 RC 輪番公式訪問にご協力いただきまして有難うございました。
- ・長坂…森本様、今日は卓話ありがとうございました。
- ・莊司…誕生祝を頂いて。有難うございます。
- ・小松…両手を広げるような枝ぶりに残り梅がありました。サクラまではまだですが
- ・中村…誕生祝を頂いて。有難うございます。
- ・上田…今日は卓話の機会を頂き有難うございました。



チーバくん
ちばSDGs
ちばSDGs/パートナー 111号

月 3月プログラム

- ・ 5日 ゲストスピーカー Apple 社「FileMakerの導入メリット」(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 12日 クラブフォーラム 青少年奉仕委員会(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 19日 休会
- ・ 26日 会長エレクト「PETS 報告」(京成ホテルミラマーレ) (寄付金受付)

月 4月プログラム

- ・ 2日 クラブフォーラム 社会奉仕委員会(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 9日 クラブフォーラム クラブ広報・ロータリー情報委員会(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 16日 クラブフォーラム C.L.F.(京成ホテルミラマーレ) (寄付金受付)
- ・ 23日 クラブフォーラム 各同好会(京成ホテルミラマーレ)
- ・ 30日 休会

千葉西ロータリークラブ	総 数	本日の出席 欠 席	出 席	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計		次週プログラム	
	44名				33名	0名		80.49%	47,000円		
	対象者				欠 席	欠 席		前々回の出席率	本年度累計		
	41名				8名	8名		82.05%	810,000円		
■次週プログラム											
3月12日(火)クラブフォーラム											
青少年奉仕委員会担当											
12:30点鐘 京成ホテル ミラマーレ											
クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】 依田和孝 【副委員長】 海寶勘一 【委員】 *足立啓輔 *上田裕美											

■ 次週プログラム

3月12日(火)クラブフォーラム
青少年奉仕委員会担当
12:30点鐘 京成ホテル ミラマーレ